



⑤ 環境管理の推進

社外ステークホルダーのご意見
 環境会計は環境問題への取組みを
 数値化した、定量的な評価として
 興味深い
 (P.39~40) 環境会計

1. 環境に関する法規制遵守の状況

2016年度に主要な環境関連の法令等に基づく改善勧告・命令や罰則の適用を受けた事例はありません。

2. 社員の環境意識高揚

環境に関する研修や社内外講師による環境講演会などを積極的に実施し、社員一人ひとりの環境意識高揚を図っています。

【環境業務の担当者を対象とする研修・講演会】

事業所の環境業務の担当者を対象に、環境経営の推進やコンプライアンスに必要な知識の習得など、環境業務全般に係る社内研修を行っています。2016年度は環境業務を担当する初任者を対象とした研修を8回実施し、97人が受講しました。また、環境に関する社外の研修・講演会にも積極的に参加しており、2016年度は、23事業所で216人の社員が参加しました。さらに環境月間においても社内外講師による社員向け講習会を13事業所で実施し、493人の社員が聴講しました。



社外講師による環境講演会（鹿屋営業所）

【環境関連の専門家育成】

エネルギー管理士や公害防止管理者など、社員の環境関連の資格取得を支援しています。



詳細は [九州電力](#)
> 関連・詳細情報 (P2参照) > 資格保有者数

3. 環境会計

当社では、より効率的かつ効果的な環境活動の展開を図るため、環境活動に関するコスト（投資額、費用額）及びそれに伴う効果を定量的に把握・分析するツールである環境会計を活用しています。

環境活動コスト

2016年度の環境活動コストは、投資額が106億円（前年度比+6億円）、費用額が387.9億円（前年度比+16億円）となりました。投資額の増加は、火力発電設備の増設に伴う環境保全工事等によるものです。また、費用額の増加は放射性廃棄物処理やHFC代替対策の実施によるものです。

集計範囲：九州電力株式会社 対象期間：2016年4月1日～2017年3月31日 単位：億円

項目	投資額		費用額	
	2015	2016	2015	2016
環境活動に伴うコスト	100.0	106.0	371.9	387.9
当社総投資額・総費用額に占める割合	4%	4%	2%	2%
当社総投資額・総費用額	2,841	2,720	16,494	16,392

(注1) 四捨五入のため、合計値が合わないことがある。(注2) 投資額は環境保全目的とした設備投資など、資産計上されるものや出資への支出
(注3) 原子力・水力等の各発電所の安定運転によるCO₂排出抑制に係るコストについては、コスト全体に占める環境保全目的の割合を特定することが困難であるため、算定の対象外

環境活動効果

2016年の温室効果ガス排出量抑制は、原子力発電や新エネ発電・購入などによる効果の増加などに伴い、全体として2015年度を上回りました。

集計範囲：九州電力株式会社 対象期間：2016年4月1日～2017年3月31日

項目	環境活動効果	
	2015	2016
温室効果ガス排出抑制量(万トン-CO ₂)	1,383	1,464
SOx/NOx低減量(千トン)	61/24	57/24
産業廃棄物リサイクル量/適正処分量(千トン)	847/4	938/3
使用済燃料貯蔵量(体)	4005	4097
支援環境団体数(団体)	52	41